

村上紀美子さんの4月18日のフェイスブックから:

みなさんお元気ですか。

不肖、村上紀美子は、これまでとても元気にはしていましたが2月3日から、急に突如として患者ど真ん中になっています。驚かせて申し訳ありません(一番驚いているのは私かもしれません)。2月に癌が見つかり、急速に進行して3月は大学病院で入院治療し、今は在宅療養しています。急展開で、ちょっと先行きがわからないので、この場でみなさんにお伝えします。

いろいろな国で、機会あるごとに、在宅ケアに同行してきた。

『納得の老後』に書いたことを少しずつ思い出して、じぶんの今の状況に当てはめて、やってみてる。その様子を気分のいい時に、写真とともにFBで、伝えたい。
神保さんお手伝い、よろしく。

ドイツのがんターミナルの女性との邂逅と写真が思い出される。いきなり私がこうなっちゃうとは!

○3月吉日:在宅ケア開始:病院での調整の日々を経て。

がん患者相談支援センターの素晴らしい活動のおかげです。

○4月吉日:在宅ケア:痛み管理少しずつ整う

○ある日曜日のピンチ:薬の副作用でせん妄のようなわけのわからない状態になり、電話やメールをいっぱいしました。お付き合いくださったみなさま、ありがとう。

○ある火曜日:大事な話を知りたい:

訪問診療医と、訪問看護師に毎回尋ねています。「私はこれからどうなりますか？」

・抗がん剤治療は検討しにくいようす

・月単位はもう難しいかもしれません

○大学病院チームとは電話での再診+訪問診療+訪問看護

・在宅での輸血までは安全に快適にできています。

・日本の在宅ケアそして病院などの地域連携、ここまでできているんだなって本当にうれしいです。って、私が偉そうに言うことじゃないけれど、一応私の生涯の取材のテーマなので。

【ミニ重要情報】

○がん患者相談支援センター:ずっとお世話になって、おかげで動いてくれた。がん専門病院にどこにでもおかれている。どうしたらいいか、困ったら、まず相談していい。その患者でなくてもいい、関係者に連絡を取って、結果をつないでくれる。

○大学病院受診と訪問看護を合わせる予定：

大学病院の主治医に自宅で電話受診、がん患者相談支援センターのソーシャルワーカーYさんと、訪問看護師さんが調整してくれて実現しそう。こんなことまで診療報酬の中でできますよ。耳より情報。

こんな今日この頃です。お電話でお話したい人もいますので、10分くらいならできそうな時、こちらからかけます。その時はよろしく願います。誰かと話をしたら、泣いちゃうかもしれない。それは感謝の涙です。間違えないでね。

私の人生素晴らしかった。みなさんのおかげでやりたいことができました。これを読んでもくださっているすべての方へ心からの感謝を込めて。

○みなさんに贈りたいメッセージがあるので、それを秋山正子さんと神保康子さんがホームページにアップしてくれます。私が学んで素晴らしいなと思ったことがみんな入れてあります。近日公開です。ぜひご覧くださいね。



村上紀美子さんの4月22日のフェイスブックから：

私はいま、日本の在宅ケアのやさしさ、すばらしさを日々感じています。
本人の力を使って、ケアをしてくれる。
訪問看護師さんは、起き上がりひとつにしても、私が力を出して起き上がるのを、必要な分だけ支えてくれます。
自分の手を自分で洗えなくなるということは、想像していませんでした。
いまは、痛かったり辛かったりすることは何もありません。
こんなにあちこち行ったから大満足（世界地図と日本地図には、行った場所にシールを貼ってあります）。
みなさんもよかったら、“Climb every mountain”おすすめします。
私の人生に付き合ってくださいっみなさん、ありがとう。
○ホームページをぜひご覧くださいね。

<https://www.hakujuji-net.com/shiryo>

○『Climb every mountain』 サウンドオブミュージック

この曲の歌詞をみなさんに贈ります。（検索してみてください）

○みなさんからのメッセージ読みました。一人ひとりにお返事できないけれど、本当にありがとうございます。

——*★*——*

みなさま、このページ、ぜひ見てくださいね(^_-)-☆

<https://www.hakujuji-net.com/shiryo> の「はっぴいえんど 人生最期の日々 雑誌連載」のところです。





最後まで支えた神保康子さん（ライター&フォトグラファー）が、撮影した写真です